

(4) 前年度の学校評価

ア 自己評価結果等

本年度の重点目標	本校におけるキャリア教育をさらに推進し、自己の将来を考えさせ、自ら向上しようとする意欲を引き出す (1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の追求 (2) 学習活動の充実 (3) 基礎的生活習慣の確立 (4) キャリア教育の推進 (5) 「ものづくり基盤人材育成事業」の推進 (6) 地域、中学校に対する積極的な情報発信		
担当	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
総務部 各学年	地域、中学校、保護者に対する積極的な情報発信	・中学校訪問、体験入学において、本校の教育活動を理解してもらう。 ・学校行事への参加を積極的に呼びかけ、PTA活動の活発化を図る。	・体験入学については、中学生 813 名の申し込みがあった。アンケートの結果からも、充実した内容で終えることができた。 ・PTA 活動については役員会、専門委員会、学校行事に出席される保護者数は増加してきている。今後は、よりよい内容の充実も考えていきたい。
教務部 各学年	基礎学力の向上  キャリア教育との関わりを意識した工業高校における道德教育の実践により、道德教育の充実を図る。	・授業を受けるマナーについての指導を徹底し、学習習慣を身に付けさせ、基礎学力の向上を図る。 ・生徒が積極的に参加する授業を目指し、指導法を研究する。 ・各教科・特別活動・学校行事などにおける道德教育の指導方針、内容及び時期を明確にする。	・昨年度と比較して、学年末における成績不振者は減少した。  ・生徒が積極的に参加する授業、習熟・分割授業等のあり方等についてさらに研究と改善を進めたい ・HR活動時に技術者倫理をテーマにしたクラス討議の実践など、新たな取組も見られたが、教科、学科において取組に差がある。今次学習指導要領の趣旨を周知させたい。
生徒指導部 各学年	基本的生活習慣の確立  自転車運転マナーの向上	・挨拶の励行と遅刻の減少を起点とし、基本的生活習慣の確立及び自立心の向上に努めさせる。 ・岡崎警察署や地域と連携し交通マナーの向上に努めるとともに、重大事故を撲滅する。	・自発的に挨拶ができる生徒が増えてきているが、遅刻者は昨年度に比べ増加した。個別指導を充実し、基本的生活習慣を身につけさせたい。 ・交通安全意識の向上について啓発したが、登下校時の事故及び地域からの苦情はなくなる。
生徒会 部 各学年	人間関係形成と社会形成能力の向上  学校行事への効率的な取り組み	・ボランティア活動を通して、地域社会に貢献し、社会での生徒自身の役割を認識させる。 ・行事の内容や校内の係・分担について検討する。	・活動の活性化を図り、生徒と地域の方との会話機会が増えた。 ・個人と集団の関係を理解させ、活動的な集団の育成を図る。
保健部	環境美化活動の推進  特別支援教育の推進	・生徒委員会による環境美化活動を充実する。  ・清掃道具入れの配置を見直し、表示を明記し使いやすくする。  ・特別支援教育活動の組織作りを進める。	・計画的に活動できているが、新たな活動を生徒自身に考えさせたい。 ・一部配置の移動を行い、教室以外のものについては表示をした。かなり傷んでいるものもあり、新しいものへの交換を検討したい。  ・2回の特別支援教育委員会の開催と、何らかの支援を要する生徒の指導計画を作成する事ができた。今後は、教員間の共通理解に向けての体制作りを進めていきたい。
図書部	学習習慣の確立  人間関係形成・社会形成能力の育成	・図書館利用マナーを高める。 ・読書会などを通じての読書の質の向上  ・イベントへの参加や、自分たちの小説や詩を発表することで互いに切磋琢磨しあえる人間関係を形成すること。	・ネット環境が整備されていない中で、スマートフォンでの調べ学習を否定できなかった。 ・岡工祭・図書館文化行事・ポスターコンクール等に参加することによって、生徒たちが自己を表現し、お互いに関わり合っており、よりよいものを作り上げていった。
進路指導部 各学年	キャリア教育の充実を図り、人としてどう生きるかを考えさせるとともに、将来設計をふまえた望ましい職業観、勤労観を養う。	・「進路のてびき」の精選、ガイダンスや外部講師の講話、進学説明会等を通して、学年ごとに適切な目標をもたせ、意識の向上を図る。 ・就職希望者には2年生学年末から就職模試を実施し、進学希望者および学園生希望者には3年生から補習を実施する。	・ガイダンスや進学説明会等を通じて、進路に対する興味・関心を持たせることができた。 ・学年会と連携し、3年生全体で就職模試を実施し、各自目標を持たせるようにした。 ・例年より早い時期から面接指導に力を入れた結果、面接力を向上させることができた。次年度も、さらに面接指導の充実を図ってきたい。
工務部 各学科	資格取得指導の充実  キャリア教育の充実	・生徒自ら資格取得に意欲的に取り組み、ジュニアマイスター取得者が増加するように働きかける。 ・各種資格試験の実施方法を検討する。 ・用務の効率化、負担軽減に努める。 ・地元企業との連携を強化し、インターンシップ、ものづくり基盤人材育成事業積極的に参加させる。	・生徒に対し定期考査を考慮した資格試験等の情報を提供することができた。多くの生徒が資格を取得し、ジュニアマイスター取得者も増加した。 ・各科の協力を得て、データ処理等も効率的に行うことができた。今後も改善を図っていきたい。 ・キャリア教育事業に積極的に参加できる環境を整えることができ目標を達成することができた。
研修 情報部	教員研修の充実  校内情報ネットワークの利用による校務の効率化	・初任者研修を早期に開始し、余裕のある研修で効果的な研修を図る。 ・教員研修、免許更新講習などを周知する。 ・教育実習を有意義なものになるように計画する。  ・共有フォルダを利用して、各種データを集約し、効率的かつ安全性の高い運用を図る。 ・XP サポート終了に伴い、パソコンを着実に更新できるようにする。 ・HPの充実をはかる。	・初任者研修は効果的に進められた。  ・基本研修の連絡を確実に行った。 ・有意義な教育実習が実施された。  ・共有フォルダが積極的に活用され、データの利用が効率的に行われるようになった。 ・若干の空白期間は生じたが、無事更新することができた。 ・HPの更新をすることができた。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育目標の達成に向け、重点目標について教員間の相互理解を図り、学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動を追求する。</li> <li>・一般的な学習活動に対する生徒の前向きな取組が、家庭や地域からの一定の理解を得ている。今後も、交通ボランティアをはじめとする生徒の自主的な活動を推進したい。</li> </ul>		

